

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	鳥取大学
設置者名	国立大学法人 鳥取大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
収支計算書又は損益計算書	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
財産目録	-
事業報告書	https://www.tottori-u.ac.jp/4156.htm
監事による監査報告(書)	https://www.tottori-u.ac.jp/1376.htm

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tottori-u.ac.jp/2796.htm

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域学部
<p>教育研究上の目的（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要） 地域をつくりあげている諸要素（社会・文化・自然）に関する幅広い知識を修得し、それらを相互に関連づけて理解する高度な思考力を養成します。 地域にある様々な公共的課題を探究するために必要な知的好奇心を養います。 批判的判断力、創造的表現力、コミュニケーション力を発揮して、地域社会の課題解決にたずさわる実践力を磨きます。 最終的に、高い倫理観と責任感をもって地域社会の再生・持続的発展に貢献できる人材の養成を目指します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要） 地域学部は、学生が地域学部の教育課程を履修し、所定の単位を修得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力を身につけたときに学士（地域学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や理解、これを土台とした、地域の公共的課題の探究に関わる知識・理解、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力および地域の諸課題を探究し解決しようとする態度を有している。 3. 地域の諸課題に対して幅広い関心・興味・意欲を持ち、主体的・自律的・継続的に学び続けることができる生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働して地域社会を創造する社会的実践力を身につけ、地域や社会に貢献できる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html）</p> <p>（概要） 地域学部は、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、学科及び各コースにおいて体系的な教育課程を編成し、実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程・教育内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学習の動機を明確にして、主体的に学習にとりくめるよう、大学入門科目および学部・学科の専門に関わる入門科目を設けるなど初年次教育を充実します。 ・教養豊かな地域学士を養成するため全学共通科目と学部の専門科目をバランスよく提供します。 ・地域に生起する公共的課題を解決できる力を形成するため、これを理論的に追究する科目と実践的に探究する科目、そして両者を統合する科目を設けて、知と実践を融合する教育課程を編成します。 ・自律的な生涯学習力を形成するために、各授業で、学び続けることの意義、地域の公共的課題に関する持続的な興味・関心、学習スキルの形成を目指します。 2. 教育方法 <ul style="list-style-type: none"> ・健全な倫理観を有し、他者と協働して、地域の諸問題を実践的に解決できる力を養うために、対話型・共同参加型の授業の展開に努めるとともに、国内外でのフィールドワークなど活動的学びを積極的に取り入れます。

3. 学修成果の評価

- ・学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により学修成果の到達度を厳格に評価します。
- ・学修成果の可視化に努め、教育課程の改善に活かします。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/faculty/idea/index.html>）

（概要）

地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探究し、地域の持続的発展に貢献したいという意欲をもった、次のような人を求めます。

1. 地域学を学ぶにあたり、高等学校等において身につける、文化、社会、自然に関する基礎的な知識・技能を有する人
2. 地域学を学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、地域の諸課題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して地域社会の持続的な発展への貢献を志す人

地域学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

（参考）選抜方法と求める能力との関連（PDFをリンク）

（地域創造コース）

地域創造コースでは、多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や、地域のさまざまな資源を有効に活用し、発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 地域の多様な課題に興味をもち、それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2. 多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3. 地域の様々な資源を有効に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

（人間形成コース）

人間形成コースでは、学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成を目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2. 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
3. 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる教師、保育士などの仕事を強く望む人

（国際地域文化コース）

国際地域文化コースでは、現代社会の構造と文化的特質、グローバルな文化と芸術文化、地域の生活文化など、文化の様々な側面を、歴史性・多様性・関係性・生活における意味などから理解することを目指します。それを踏まえて、日本を含む世界の様々な地域で、異質なものを相互に認め合いながら、「一人ひとりの生活と生の充実」「つながりの

<p>創出」を実現するために必要な実践的知識や技法、言語能力や現地感覚・現場感覚を身につけた人材を養成します。そこで本コースは、広く次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な文化（言語・文学・歴史など）について深く学び、それを地域づくりに活用したい人 2. 芸術文化（音楽・美術・舞踊・アートマネジメント・映像など）について深く学びたい人 3. 地域の文化を多様な視点から調査・分析する意欲のある人 4. 多様な文化に触れ、国際的感性と実践的言語コミュニケーションの力を身につけたい人 5. 地域の文化的課題に取り組み、創造的・地域づくりのキーパーソンを目指したい人

<p>学部等名 医学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/idea.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>鳥取大学医学部は山陰地方の歴史と伝統ある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限らない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。</p> <p>医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。</p> <p>生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成する。</p> <p>保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/）</p>
<p>（概要）</p> <p>（医学科）</p> <p>鳥取大学医学部医学科では、その教育目標を踏まえ、学生が医学部医学科の教育課程を修め、所定の単位を修得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力や特性を身につけたときに学士（医学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢を有している。 2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力を身につけている。 3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協働して医療・研究を行う能力を有している。 4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力を有している。 5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力を有している。 <p>（生命科学科）</p> <p>鳥取大学医学部生命科学科では、その教育目的を踏まえ、学生が本学科の教育課程を修め、所定の単位を修得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力や特性を身につけたときに学士（生命科学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学をはじめ一般的な教養に関する幅広い知識と、生命科学および基礎医学に関する深い知識の習得と理解、これら知識の獲得のための方法と技能を身につけている。

2. 生命科学研究の遂行に必要な基本技術とその原理の理解、解決すべき問題を自ら設定できる問題探索力、問題を適切な方法により解決に導く問題解決力を身につけている。
3. 国際的な広い視野を備えた柔軟かつ論理的な思考力、独創的な発想力を有している。
4. 生命科学における真理の探求や新しい技術の開発の重要性に対する深い理解、従来の常識や先入観に左右されない態度、他者と共同して研究を進めることができる協調性を有している。
5. 生命科学を学んだものとしての健全な倫理観と責任感を備えている。

(保健学科看護学専攻)

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻では、その教育目標を踏まえ、学生が医学部保健学科看護学専攻の教育課程を修め所定の単位を修得して卒業要件を満たし、鳥取大学の学位授与の方針に加え、以下の能力や特性を身につけたときに学士(看護学)の学位を授与します。

1. 看護職者の役割と責務を理解し、豊かなコミュニケーション能力を身につけ、倫理的に行動することができる。
2. 看護の基礎となる人間と健康生活を理解し、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得、さらに、あらゆる対象の健康生活のために科学的根拠に基づいて看護を実践する能力を有している。
3. 対象者の利益のために保健・医療・福祉をはじめ種々の関係者と連携・協働し、調整する能力を有している。
4. 看護学の発展のために、看護実践の中から課題を自律的に探求し、論理的・創造的に解決し続ける能力を有している。

(保健学科検査技術科学専攻)

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻では、鳥取大学の卒業認定・学位授与の方針に加え、次に掲げるように能力や特性を身につけたときに学士(保健学)の学位を授与します。

1. 幅広い視野から人間を理解し、倫理的に行動する態度と姿勢を有している。
2. 臨床検査学の高い専門的知識と技術を身につけている。
3. 医療人としてのコミュニケーション能力、思考力、判断力、協調性を有している。
4. 地域のみならず国際的な医学・医療の発展に貢献できる科学的探究能力を有している。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 :

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/>)

(概要)

(医学科)

鳥取大学医学部医学科では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までには医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。
2. 人間力を高めて、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
3. 学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。
4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施

します。

7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。
9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学术交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

(2) 教育方法

1. 目標とする学修成果を達成できるように、対話型、参加型教育を展開して能動的な学習を推進します。

(3) 学修成果の評価

1. 学部の定める成績評価基準に基づき、学修成果の達成度を知識、技能、態度について試験、レポート、評価表等を用いて厳格に評価するとともに、学生の学修成果達成度を可視化することに努めます。
2. 学修成果をモニターして教育課程の効果を検証し、教育課程の編成に反映します。

(生命科学科)

鳥取大学医学部生命科学科は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次に掲げる方針のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 生命科学の専門知識とともに幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。
2. 全学共通科目では、自然科学をはじめ一般的な教養を学ぶとともに、医学・生命科学を支える基礎的な知識および技術の習得を図ります。
3. 専門科目では、幅広い医学知識、専門性の高い生命科学知識、生命科学研究に必要な基礎技術の習得および生命倫理の理解を図ります。
4. 論理的思考力、独創的な発想力、的確な表現力およびコミュニケーション能力を育成します。同時に、真理の探求や新しい技術の重要性に対する理解を促します。

(2) 教育方法

目標とする学修成果を達成できるように、1～3年次では、教育課程・教育内容に挙げた内容について、講義および実習を通して学修を推進します。最終年次における「生命科学特別研究」では、所属する研究室においてきめ細やかな指導を行います。これらについて、一対一の対話型および参加型教育を行い能動的な学習を推進し、主体的な問題探索力、問題解決力の育成と修得を図ります。

(3) 学修成果の評価

1. 学部の定める成績評価基準に基づき、学修成果の達成度を、各年次における試験、レポート等を用い、厳格に評価します。
および実習での能動的な探求の姿勢については、実習参加の積極性や協調性などについて厳格に評価します。
さらに、学修成果の達成度を可視化することに努めます。
2. 最終年次における「生命科学特別研究」は、学部の定める成績評価基準に基づき、日常の研究に取り組む姿勢、研究態度、そして卒業論文により、学修成果の到達度を評価します。

3. 学修成果をモニターして教育課程の効果を検証し、教育課程の編成に反映します。

(保健学科看護学専攻)

鳥取大学医学部保健学科看護学専攻は、学位授与の方針を実現できるように、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 鳥取大学のグランドデザインの柱である現代的教養と人間力を身につけるために文化・社会・自然に関する幅広い科目を編成します。
2. 全人的医療人の基盤として、こころ・身体・社会の構造と機能について学習し、さらに、看護学の視点から生活者の健康について学習できるカリキュラムを展開します。
3. あらゆる対象の健康生活を科学的根拠に基づき支援するために、看護の対象、看護実践の場、健康にかかわる課題、看護実践の方法について学習を充実します。
4. 看護の本質を追究し続ける姿勢を身につけるために、看護の論理的追究および実践的追究の方法に関する学習を充実します。

(2) 教育方法

1. 自ら学ぶ力を高め、学びを統合するために、対話型・参加型・実践型教育の展開に努めます。
2. 看護の対象となる人々が生活する地域・在宅、医療・福祉・教育施設等の多様な場において看護実践教育を行います。

(3) 学修成果の評価

1. 学部の定める成績評価基準に基づき、学修成果の達成度を、知識、技能、態度について、試験、レポート、評価表等により厳格に評価します。
2. 学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

(保健学科検査技術科学専攻)

鳥取大学医学部保健学科検査技術科学専攻は、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

(1) 教育課程・教育内容

1. 幅広い知識と確かな実践力をもった人材を育成するために、バランスのとれた教養教育と専門教育を行います。また、自律的な生涯学習力を養成します。
2. 臨床検査技師に必要な科目を中心にして、専門科目を体系的に学べるよう教育課程を編成します。臨床検査技術の習得につながる実習科目を充実します。
3. 医療人として必要な医学の専門科目に加え、コミュニケーション能力を育成する科目を設置し、他者との違いを理解し、他者を思いやる心と倫理観を涵養します。
4. 大学附属病院を含む地域の医療施設で実習を行い、臨床現場での体験学習を充実させます。
5. 最先端のバイオサイエンスや医学・医療の実際を学べる教育課程を編成します。また、課題研究など国際的に通用する問題解決能力・創造的表現力を育成する科目を設置します。

(2) 教育方法

1. 目標とする学修成果を達成できるように、対話型、参加型教育を展開して能動的な学習を推進します。

(3) 学修成果の評価

1. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により学修成果の達成度を厳格に評価します。
2. 学修成果の可視化に努め、これを検証し、教育課程の編成に反映します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）：

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/policy/>

(概要)

医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成します。

医学部は、山陰地方の歴史と伝統のある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行います。そして、限らない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指します。

医学部の理念・教育目標を達成するため、各学科では次のような人を求めます。

(医学科)

医学部医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成するために、次のような人を広く受け入れます。

1. 医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3. 問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4. 思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方もつ人
5. 医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6. 地域・国際医療に関心を持ち、貢献したいと考えている人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、多角的視野など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

(生命科学科)

医学部生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を目指す、次のような人を広く受け入れます。

1. 学修に必要な高等学校等までの理科（生物、物理、化学）の知識と基本的な語学力と国語力を備えた人
2. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学ぶとともに向上・発展させる研究活動に興味を持つことができる人
3. 真理探究の意欲を有し、創造的目標の達成にチャレンジでき、そして勉学・自己研鑽に労力をおしまない人
4. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

(保健学科看護学専攻)

医学部保健学科看護学専攻では、看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を志す、次のような人を広く受け入れます。

1. 健康に関わる様々な問題について、深く広い関心のある人
2. 看護学を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 相手の言葉に耳を傾け、相手の立場を思いやることができ、自らも的確に表現する力のある人

4. 問題解決のために柔軟な発想と多面的・論理的な思考力を持ち、自分の考えを表現できる人

5. 自ら課題を見出し主体的、創造的に探究して自己の成長を目指す人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

(保健学科検査技術科学専攻)

医学部保健学科検査技術科学専攻では、生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成するために、次のような人を広く受け入れます。

1. 科学的な思考力、判断力、表現力があり、主体的に学ぶ意欲のある人

2. 医学・医療や生命医科学を学ぶための基礎的な知識・技能のある人

3. 倫理観を備え、周囲の人と協調して行動できる人

4. 地域の医療・保健に加えて、国際的にも貢献したいと考えている人

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

学部等名 工学部

教育研究上の目的 (公表方法 :

<https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-idea>)

(概要)

本学部は、人類の福祉と社会の発展に資するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行うとともに、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的とする。

卒業の認定に関する方針 (公表方法 :

<https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-policy>)

(概要)

鳥取大学工学部では、鳥取大学の「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえ、各学科の教育課程を修め、所定の単位を修得したと認められ、卒業要件を満たし、次に掲げる能力を身につけた学生に対して、学士(工学)を授与します。

1. 地球の環境と人類の幸福・福祉を考え、社会に対する責任や倫理観を自覚する知的・道徳的能力
2. 基礎知識や専門知識に基づいて総合的・系統的・計量的に思考し、新技術開発や問題解決、情報活用を行う能力
3. 自律的・主体的・継続的に学習する能力
4. 論理的な記述、発表、討議などのコミュニケーション能力および他者と協働して実践する能力
5. 多様な価値観や地域特性、文化的背景の存在を踏まえ、柔軟で視野の広いものの考え方ができる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 :

(概要)

鳥取大学工学部では、本学部の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 全学共通教育と合わせて専門分野を中心とした特色ある教育課程を学科毎に編成します。
2. 課題解決能力や社会的実践力を形成するため、専門の技術・知識の理論的探求と実践的探求を促し、総合的な能力を向上させる場として卒業研究を行います。
3. 工学技術に関する倫理教育の機会、最新の技術動向や専門知識に触れる機会を提供します。
4. 他者と協働して能動的に実践する能力を形成するために、実験、演習等の対話型・参加型教育を展開します。
5. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果の到達度を厳格に評価します。
6. 学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

(機械物理系学科)

機械物理系学科では、本学科の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 初年次では数学、物理学、情報技術など学修の基礎となる科目を重点的に学びます。加えて、人文・社会、環境、生命に関する幅広い教養科目、外国語科目を学ぶとともに、大学入門ゼミ、キャリア教育科目を通じて将来を見据えた学修を各自に促します。
2. 学生の興味・関心に応じた複数のプログラムを用意し、各プログラムの特色ある必修科目の他、選択科目を主体的に履修することで専門性を高めていきます。専門の知識・技術を応用して、卒業研究と卒業論文の執筆・発表を行い、問題解決を図る総合的な能力を養成します。
3. 最先端の機械物理系分野の科学技術動向に触れる機会を準備し、技術者としての高い倫理観を養成する科目を提供します。
4. 実験、製図、演習、プロジェクト科目を通じて能動的な考察能力・課題解決能力を磨き、対話型・参加型教育を展開します。
5. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果の到達度を厳格に評価します。
6. 授業アンケートなどを通して学修成果を分析しながら教授法を検証し、教育方法の改善に努めます。

(電気情報系学科)

電気情報系学科では、本学科の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 全学共通科目と合わせて電気情報系分野を中心とした教育課程を編成します。
2. 電気情報系分野の専門的な技術・知識を応用し、総合的な能力を向上させる場として卒業研究を行います。
3. 工学技術に関する倫理教育の機会、最新の技術動向や専門知識に触れる機会を提供します。
4. 他者と協働して能動的に実践する能力を形成するために、実験、演習等の対話型・参加型教育を展開します。
5. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果の到達度を厳格に評価します。
6. 学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

(化学バイオ系学科)

化学バイオ系学科では、本学科の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学

生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 1年次では全学共通教育と合わせて、有機化学・物理化学・無機化学・分析化学・生化学など各専門分野の基礎となる科目を修得し、2年次から「合成化学」、「材料化学」、「グリーンケミストリー」、「バイオサイエンス」、「バイオテクノロジー」の各プログラムに所属してそれぞれに特色のある教育を行います。
2. 学生が学修した内容を統合し、それをもって他者にはたらきかけることができるようになるために、「応用化学ゼミナール」、「生物工学プレゼンテーション」、「卒業研究」を配置します。
3. 理系企業人に求められる、科学的思考力・伝える力、倫理観、法令認識、リスク認識、自分と自分の仕事に対する将来ビジョンと構想力、および他分野学問への関心を共に考えるために、「工学倫理」を必修とし、最新の技術動向や専門知識に触れるために、「化学・バイオ工学特別講義Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」を配置します。
4. 実験を行う上での基礎的な知識、技術の修得、および他者と協働して能動的に実践する能力の形成を目指し、「合成化学」、「材料化学」、「グリーンケミストリー」プログラムでは「応用化学実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」を、「バイオサイエンス」および「バイオテクノロジー」プログラムでは「生物工学実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」をそれぞれ必修とします。
5. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果の到達度を厳格に評価します。
6. 学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

(社会システム土木系学科)

社会システム土木系学科では本学科の「卒業認定・学位授与の方針」で示す能力・素養を学生が身につけられるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し実施します。

1. 全学共通教育と合わせて社会システム土木系分野の専門教育を中心とした教育課程を編成します。
2. 課題解決能力や社会的実践力を形成するため、社会システム土木系分野の技術・知識の理論的追求と実践的追求を促し、総合的な能力を向上させる場としてプロジェクト科目や卒業研究を実施します。
3. 工学技術に関する倫理教育の機会、最新の技術動向や専門知識に触れる機会を提供します。
4. 他者と協働して能動的に実践する能力を形成するために、実験、演習等の対話型・参加型教育を展開します。
5. 学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果の到達度を厳格に評価します。
6. カリキュラムマップ等により学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

<https://eng.tottori-u.ac.jp/education/faculty-policy>)

(概要)

工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1. 地球の環境、人類の幸福・福祉に関心を持ち、社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2. 基礎知識や専門知識を学修し、学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4. 他者の意見を聞き、自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ、それを活用する意欲のある人

工学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

(機械物理系学科)

機械物理系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 自然現象や様々な事象に強い興味を持ち、物事を根本的なところから思考できる人
2. 機械、航空宇宙、ロボティクス、物理工学を学ぶのに必要な基礎学力、特に数学、物理についての学力、及び国語、英語などの語学能力を有し、学習意欲を持っている人
3. 自立・自律心の向上を目指す人
4. 自然環境と人間社会との共存に関心を持ち、柔軟な発想・洞察をもって課題の発見に努力のできる人
5. 課題の解決に向けて、倫理観と熱意を持って持続的に取り組むことのできる人
6. 他者と協働し、倫理観を持って社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

(電気情報系学科)

電気情報系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの工学に必要な基礎学力を有している人
2. 工学系の学問分野、特に電気電子情報分野（エネルギー、材料、情報、制御、システム等）に興味を持つ人
3. 工学が社会や自然に及ぼす影響に関心を持つ人
4. 論理的記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力を高め、将来、国際社会で役立つ技術者、研究者となる意欲を持つ人
5. 社会の変化に対応して、倫理観を持って自ら学び続ける意欲を持つ人

(化学バイオ系学科)

化学バイオ系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 自分は何をもって社会に貢献しようとするのか、ということをも自分に問い続けることのできる人
2. 人類の幸福と福祉、健康について、深い興味と問題意識を持っている人
3. 化学に関係した分野に強い関心を持っており、新しい問題点を指摘できる人
4. 生命の仕組みや生物の情報伝達能力に興味がある人
5. 人類の役に立つ新しい生物や物質の発見を志す人
6. 環境にやさしく持続性のある資源やエネルギーの創製に意欲を持っている人
7. 他者と協働し、倫理観を持って社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

(社会システム土木系学科)

社会システム土木系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2. 広く物事に関心を持ち、幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3. 人類の安全と平和、ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人

4. 人類と自然との調和を図り、持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5. 計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人
6. 他者と協働し、社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

学部等名 農学部
教育研究上の目的（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/ ）
（概要） 現在、地球上では、急激な人口増と過剰な人為作用によって、食糧問題とともに、様々な環境問題が起きています。これらの問題を解決するために、農学に対する社会からの期待は極めて大きく、農学の果たすべき役割は21世紀においてますます増大しています。自然と人類との共生という観点からも、農学は極めて重要な責務を担っており、その可能性は大きく無限です。 農学部創設以来、砂丘地農業の開発や二十世紀梨の生産などをはじめとする地域の農林畜産業の振興に大きく寄与してきましたが、現在では、植物の遺伝子解析や生物の機能開発などに関する生命科学、砂漠化防止や緑化など特に乾燥地の環境問題、森林や湖沼などの生態系の保全と修復に取り組んでいます。また、地域だけでなく、世界各国との国際農業協力など、常にグローバルなレベルで積極的に特色ある展開をしています。獣医学科でも、基礎、応用、臨床分野にわたる広い領域を対象とし、SARS対策、人獣共通感染症である鳥エンフルエンザの解明、環境汚染物質による海洋生物への影響、キチンキトサンによる動物医薬品の開発など、特徴ある研究に取り組んでいます。 教育面についても、幅広い知識とともに実践する力をもち、社会の中核となりうる教養豊かな積極的な人材の育成を目標としており、室内実験からフィールドまで、学生の多様な要望に応えるべく、例えば海外研修など特徴ある教育コースとカリキュラムを用意しています。鳥取大学農学部は、2004年度の文部科学省の3つの競争的重点事業、「特色ある大学教育支援プログラム」、「21世紀COEプログラム」、「地域貢献特別支援事業」に参加し、すべて採択されました。これら3つの事業をすべて採択された大学は、全国700余の大学のうちわずか8校です。このことから、鳥取大学農学部のこれまでの教育と研究が高く評価されたことが分かります。今後さらに高いレベルを目指して、教職員学生一体となって協力を進め、魅力ある特色ある教育と研究を進め有能な国際性豊かな人材育成を進めていきたいと考えています。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 農学部は、大学の卒業認定・学位授与方針に加え、学生が各学科における学修と経験を通じて、次の要件を満たしたときに「学士（農学）」または「学士（獣医学）」の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 農学部は、大学の教育課程編成・実施の方針に加え、動植物のいのちを育む力、守る力、探究する力を養う教育を実践します。そのために各学科の「専門科目」または「専門教育科目」を通じて、基礎的専門知識と課題探究能力を備え、実践力のある人材を育成出来る様な教育課程を編成し、実施します。

(生命環境農学科)

生命環境農学科は、大学の教育課程編成・実施・評価の方針に従うとともに、卒業認定・学位授与の方針（DP）で示した能力を修得するために、以下の体系的な教育課程を編成し、実施します。

○教育課程の編成の方針

専門教育においては、専門科目を学科共通専門科目とコース専門科目に区分し、段階的に導入から応用、探究へとつながるカリキュラムを構成します。

学科共通専門科目では、基礎科目と発展科目を設け、農学を学修する上で必要となる専門知識の導入を図ります。さらに、農学を幅広くより深く理解するための探究科目を設定します。

コース専門科目では、基幹科目と展開科目を設け、各コースで求める能力を達成するために、応用と専門的技能の修得を図ります。

○教育・学修方法に関する方針

農学における課題解決能力や社会的実践力を修得するために、理論中心の講義、対話型・参加型形式を含む実践中心の演習、実験を有機的に連携させ、DPで示した能力を修得できる教育を行います。

○学修成果の評価の方針

学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により農学における学修成果の到達度を厳格に評価します。

農学における学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

(共同獣医学科)

共同獣医学科は、大学の教育課程編成・実施の方針に加え、動物の健康の増進、公衆衛生の向上、人間社会や環境における健全性の維持に貢献できる、あらゆる命の専門家の育成が教育上の理念です。そのため、日本だけでなく国際社会をリードする者に不可欠な教養教育を基盤に、動物に関わる総合的・実践的かつ高度な獣医学教育を展開します。

1. 一般教養科目

人として、さらに獣医師として必要な自然科学の基盤、社会的規範及び国際性など、多様な領域について学問的関心を持ち、幅広い総合的な判断力を培い、かつ豊かな人間性を涵養することを目的とする教育を実施します。また、獣医学専門教育を開始する準備として、少人数を対象とした個別指導教育の実施や獣医学の多様性と獣医師の社会的役割を概説します。

2. 専門教育科目

斉一教育科目群と専修教育科目群から構成されます。前者は、獣医学モデル・コア・カリキュラムに準拠した科目について、多様化する獣医師の職務を遂行する上で必要な知識・技能に関する教育を実施します。専修教育科目群は、実践的体験学習（インターンシップ）、卒業研究及びアドバンス科目（選択科目）等からなり、問題解決力、課題探究力、論理的思考力、プレゼンテーション能力、英語活用能力及び実践的行動力を養います。

3. 学修成果の評価方針

学修成果の評価については鳥取大学単位認定規則に則り実施します。また、各科目のシラバスに記載された成績評価方法と基準及び学部の定める成績評価基準などに基づき、授業目標への達成度により評価します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

<http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/about/policy/>)

(概要)

農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 文化、社会、自然に関する基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得している人
3. 自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人
4. 倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人
5. 食料、環境、いのちについて強い関心を持ち、自主的、自発的に学ぶ意欲を持つ人
6. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

(生命環境農学科)

生命環境農学科では、農学部の入学者受入の方針に基づき、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 食料、環境、生命に関心を持ち、高等学校等で履修する科目の基本的な知識を有する人
2. 基礎的な科学的思考力と判断力を持ち、その多面的な向上と深化を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、乾燥地の農業や環境問題、地域資源の保全や活用、生物資源の発掘や育種、生命現象の解明や応用について主体的に探究する意欲を持つ人
4. 健全な倫理感と使命感を持ち、自身の考えを表現する力、力を合わせて活動する力を備える人

生命環境農学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、意欲などと関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

(共同獣医学科)

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科では、動物、人間社会、環境の健全性の維持に貢献し、多様化、高度化、国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応できる獣医師の養成を目指しています。そのため、以下に掲げる意欲を持つ人材を求めます。

1. 高度な獣医学教育に対応し得る高い総合的学力を備えている人
2. 国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な語学力と理系の知識を備えている人
3. 自然や生命に強い興味を持ち、それを探究する意欲を持つ人
4. 獣医学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を備える人
5. 獣医師としての目的意識を持ち、獣医学を通じて社会の発展に貢献する意欲を持つ人
6. 公衆衛生や環境衛生、動物の病気の診断・治療等の幅広い分野について強い意識を持って学習に励む人
7. 国際交流に積極的に関わり、獣医師として世界に貢献する意欲を持つ人

共同獣医学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性などと関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

(参考) 選抜方法と求める能力との関連 (PDF をリンク)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.tottori-u.ac.jp/2438.htm>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
地域学部	—	20人	11人	21人	1人	0人	53人
医学部	—	58人	29人	38人	87人	0人	212人
工学部	—	49人	5人	39人	24人	0人	117人
農学部	—	42人	8人	36人	7人	0人	93人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			246人				246人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.tottori-u.ac.jp/2439.htm					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域学部	170人	175人	102.9%	680人	731人	107.5%	0人	0人
医学部	264人	268人	101.5%	1293人	1347人	104.2%	5人	5人
工学部	450人	461人	102.4%	1800人	1939人	107.7%	0人	0人
農学部	255人	257人	100.8%	1090人	1137人	104.0%	0人	0人
合計	1139人	1161人	101.9%	4863人	5154人	106.0%	5人	5人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域学部	184人 (100%)	7人 (3.8%)	152人 (82.6%)	25人 (13.6%)
医学部	255人 (100%)	39人 (15.3%)	97人 (38.0%)	119人 (46.7%)
工学部	422人 (100%)	225人 (53.3%)	186人 (44.1%)	11人 (2.6%)
農学部	252人 (100%)	57人 (22.6%)	179人 (71.0%)	16人 (6.3%)

合計	1,113 人 (100%)	328 人 (29.5%)	614 人 (55.2%)	171 人 (15.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業担当教員が、シラバス記載要領に沿って、前年度の2月中旬までに授業計画（シラバス）を作成し、3月上旬にWebシステムにて公表している。</p> <p>また、シラバス記載内容に不備がある科目を抽出し、当該科目の担当教員に改善を依頼することにより、本学における教育の質保証を高める取組を本学教養教育センターにおいて実施している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位認定規則、成績の評価基準を定めるとともに、授業科目の授業計画（シラバス）上で「成績の評価方法と基準」を公表し、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により単位を授与している。卒業認定に当たっては、在学すべき年限を在学し、所定の教育課程を修了した者には、学部長の認定に基づき、学長が卒業したことを認め、学士の学位を授与している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域学部	地域学科（地域創造コース）	124 単位	有・無	単位
	地域学科（人間形成コース）	124 単位	有・無	単位
	地域学科（国際地域文化コース）	124 単位	有・無	単位
医学部	医学科	195.5 単位	有・無	単位
	生命科学科	141 単位	有・無	単位
	保健学科看護学専攻	129 単位	有・無	単位
	保健学科検査技術科学専攻	131 単位	有・無	単位
工学部	機械物理系学科	126 単位	有・無	単位
	電機情報系学科	126 単位	有・無	単位
	化学バイオ系学科	126 単位	有・無	単位
	社会システム土木	126 単位	有・無	単位

	系学科			
農学部	生命環境農学科	124 単位	有・無	単位
	共同獣医学科	183 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.tottori-u.ac.jp/2444.htm>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
地域学部	地域学科	535,800 円	282,000 円	円	
医学部	医学科	535,800 円	282,000 円	円	
	生命科学 科	535,800 円	282,000 円	円	
	保健学科	535,800 円	282,000 円	円	
工学部	機械物理 系学科	535,800 円	282,000 円	円	
	電気情報 系学科	535,800 円	282,000 円	円	
	化学バイ オ系学科	535,800 円	282,000 円	円	
	社会シス テム土木 系学科	535,800 円	282,000 円	円	
農学部	生命環境 農学科	535,800 円	282,000 円	円	
	共同獣医 学科	535,800 円	282,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 入学料・授業料の減免(徴収猶予を含む。)、日本学生支援機構奨学金、修学支援事業基金奨学金、民間企業からの寄附を原資とする学内奨学金のほか、学生教育研究災害傷害保険への加入、学生旅客運賃割引証の発行などを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 卒業後の就職に代表されるキャリア形成を支援する全学的拠点として、教育支援・国際交流支援機構にキャリアセンターを設置し、学生の進路希望の多様化や、社会環境・経済動向の変化に応じて、入学時からのキャリア教育と就職活動への実践的なサポート体制を、全学的に整備している。正課教育におけるキャリア教育科目の開設、正課外の各種就職ガイダンスや個別相談等、きめ細やかな対応を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健管理センターでは、学生が心身とも穏やかに健やかな学生生活が過ごせるよう、健康診断の実施と問診・結果に基づく事後措置、心身の健康相談・診察、カウンセリング、生活習慣やソーシャルスキル獲得のための教育活動、感染対策等の啓発活動等を行っている。医師(専任教員2名)、保健師・看護師、学校医(内科・精神科医師)、カウンセラー(臨床心理士・公認心理師)が、それぞれの専門的立場で、協力して、きめ細やかな対応を行っている。必要に応じ、教員や学部・学内関係部署と連携して対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.tottori-u.ac.jp/4147.htm
--